

4. 七尾港海岸環境整備事業（能登島マリンパーク）

事業概要

箇所名：石川県七尾市能登島佐波町地内
 工事内容：階段護岸 L=480m
 突堤 L=290m
 潜堤 L=348m
 養浜 V=92,000m³
 総工事費：約18億円
 事業期間：平成4年度～平成13年度
 利用開始：平成13年7月

整備計画

水や緑が豊かで快適な
ふるさとづくり



位置図



地元の声



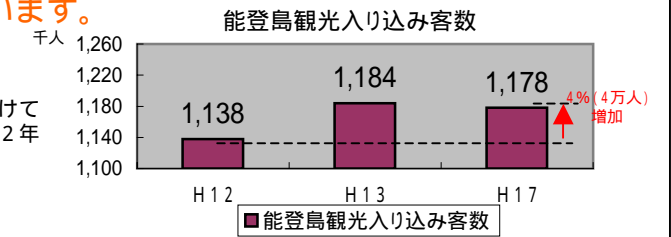
「保育園の目の前に広い海水浴場と広場が出来て、夏には園児達が泳いだり、水遊びしたりしていつも楽しく利用しています。今後も水に親しみやすい施設の安全を保ち利用出来るようお願いします。」
七尾市のとじま保育園

数字で見る整備効果

観光客が増加し、地域の活性化が図られています。

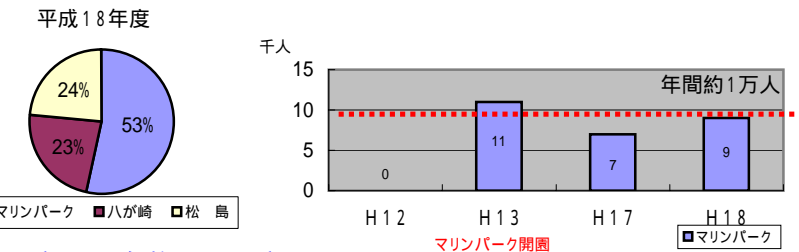
1) 能登島地区観光入り込み客数の増加

県全体の観光入り込み客数が平成12年から平成17年にかけて約5%減少している中、能登島地区の観光入り込み客が平成12年から平成17年にかけて4%（4万人）増加しています。



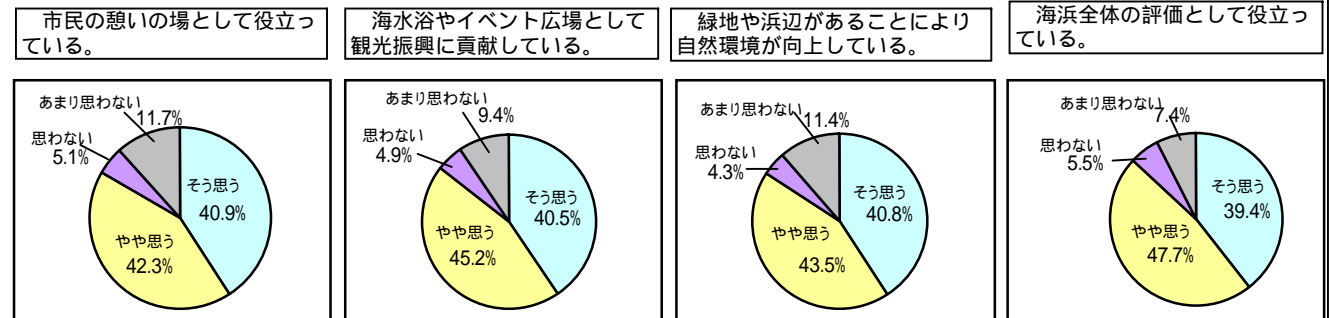
2) 能登島における海水浴利用者

能登島マリンパークの海水浴場利用者は、年間約1万人であり、能登島地区全体の約5割を占め、堅調に推移しています。



3) 利用者への満足度調査 (回収数:530部 / 配布数:1,000部 = 53%)

利用者のうち約8割から満足という結果を得られています。



自由回答の主な意見

- ・「市民や観光客の憩いの場として役立っている。」
- ・「とてもきれいな施設、遠浅で子供にぴったり!!」
- ・「能登島マリンパークのPR不足。」
- ・「海の家のような休憩所がほしい、冬場にも利用できる工夫が必要。」
- ・「貝殻等のゴミを念入りに撤去してほしい。」

4) ひよっこり温泉「島の湯」

能登島マリンパークの背後整備された市営ひよっこり温泉「島の湯」は、平成13年7月にオープンし、毎年15万人もの利用者が訪れています。平成18年12月に、延べ利用者数は100万人を超えています。

5) イベントの開催

- ・トライアスロン大会
平成16年から毎年、トライアスロン大会のSWIMコースとして利用されており、多くの参加者が訪れています。
- ・ツールドのと400
以前は、旧能登島町役場をスタート・ゴール地点としていたが、平成13年以降は能登島マリンパークをスタート・ゴール地点としている。毎年多くの参加者が訪れています。



トライアスロン大会



ツールドのと400

Before After

良好な親水空間が創出され、
新しい観光スポットとなっています。

【事業前】

能登島は能登半島の内浦に浮かぶ本県最大の島であり、四方海に囲まれているにもかかわらず本格的な海洋レジャー施設がなく、親水空間が不足している状況でした。



【事業後】

港湾海岸整備事業により、付近の自然景観とも調和した海水浴場に利用できる施設整備により海水浴など人々が海辺に親しむ海岸環境が創造され背後で七尾市が整備を進めていた「ひよっこり温泉」と一体となって地域の活性化に寄与しています。



今後の取組み

- ・利用者アンケートでは、能登島マリンパークのPR不足等の意見があったことから、今後七尾市のホームページや広報誌活用などの宣伝方法等の改善を図っていきたく思います。
- ・利用者アンケートでは、貝殻等のゴミにより利用に支障をきたしているとの意見があったことから、安心して利用していただくためにも、海岸管理の徹底を図っていきたく思います。